

第1回瑞穂市総合計画等評価審議会



富有柿発祥の地 岐阜みずほ

-1-

本審議会の役割



-2-

瑞穂市総合計画等評価審議会の役割

瑞穂市総合計画等評価審議会

「総合計画及び
まち・ひと・しごと創生総合戦略の
進行管理について調査及び審議
すること」

瑞穂市付属機関設置条例より

-3-

総合計画とは？



-4-

総合計画とは？①

■ 市の最上位の計画

■ 3層構造

→ 基本構想、基本計画、実施計画

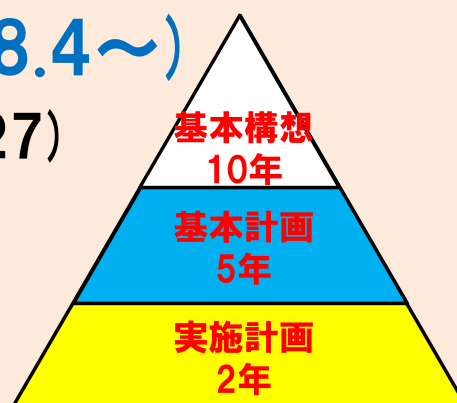
■ 2次計画期間（H28.4～）

※1次計画期間（H18～H27）

→ 基本構想 10年

→ 基本計画 5年

→ 実施計画 2年



-5-

総合計画とは？②

基本構想について

■ 目標人口

→ H37年（2025年）55,000人

■ 「誰もが未来を描けるまち瑞穂」

→ 「育」 子ども・地域・産業を育む

→ 「住」 良好な住環境を維持・向上

→ 「安」 安全・安心な暮らしを守る

→ 「活」 まちの資源や人を活かす

-6-

総合計画とは？③

基本計画の特徴について

■ 「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との連動

→総合計画の重点施策として取り組む

■ 目標指標・K P I (※1) の設定

→施策ごとに目標数値設定

(※1) K P I・・・Key Performance Indicatorの略、重要業績評価指標のこと

■ 重点施策の設定

→14の分野、29項目の施策

-7-

総合計画とは？④

■ 重点施策には何がある？

- | | |
|--------|--------|
| ①治水・防災 | ②都市基盤 |
| ③下水道 | ④高齢者福祉 |
| ⑤医療・健康 | ⑥子育て支援 |
| ⑦学校教育 | ⑧農業 |
| ⑨商工業 | ⑩観光・交流 |
| ⑪行政運営 | ⑫財政運営 |
| ⑬協働 | ⑭情報 |

-8-

総合計画とは？⑤

■ 重点施策の具体的内容（実施計画）

- 実施計画において、今後2年間の具体的内容、事業費を記載
- 実施計画は毎年見直し

-9-

本審議会での具体的な担当事務 （総合計画編）

瑞穂市第2次総合計画の

■ KPIの評価・検証を実施

- 実施計画ベースで評価
- 重点項目の評価（14の分野、29の項目）
- H29年度より評価開始（H28計画開始）

-10-

まち・ひと・しごと 創生総合戦略とは？



-11-

まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？①

■ H26.11「まち・ひと・しごと創生法」

→自治体の戦略策定を求める

→瑞穂市はH27.10策定、H28.3改訂、H29.9改訂

■ 人口減少・少子高齢化への対応

■ 人口ビジョン

→2040年（H52）に55,000人を確保

■ 総合戦略

→まち、ひと、しごと、交流、にぎわい

-12-

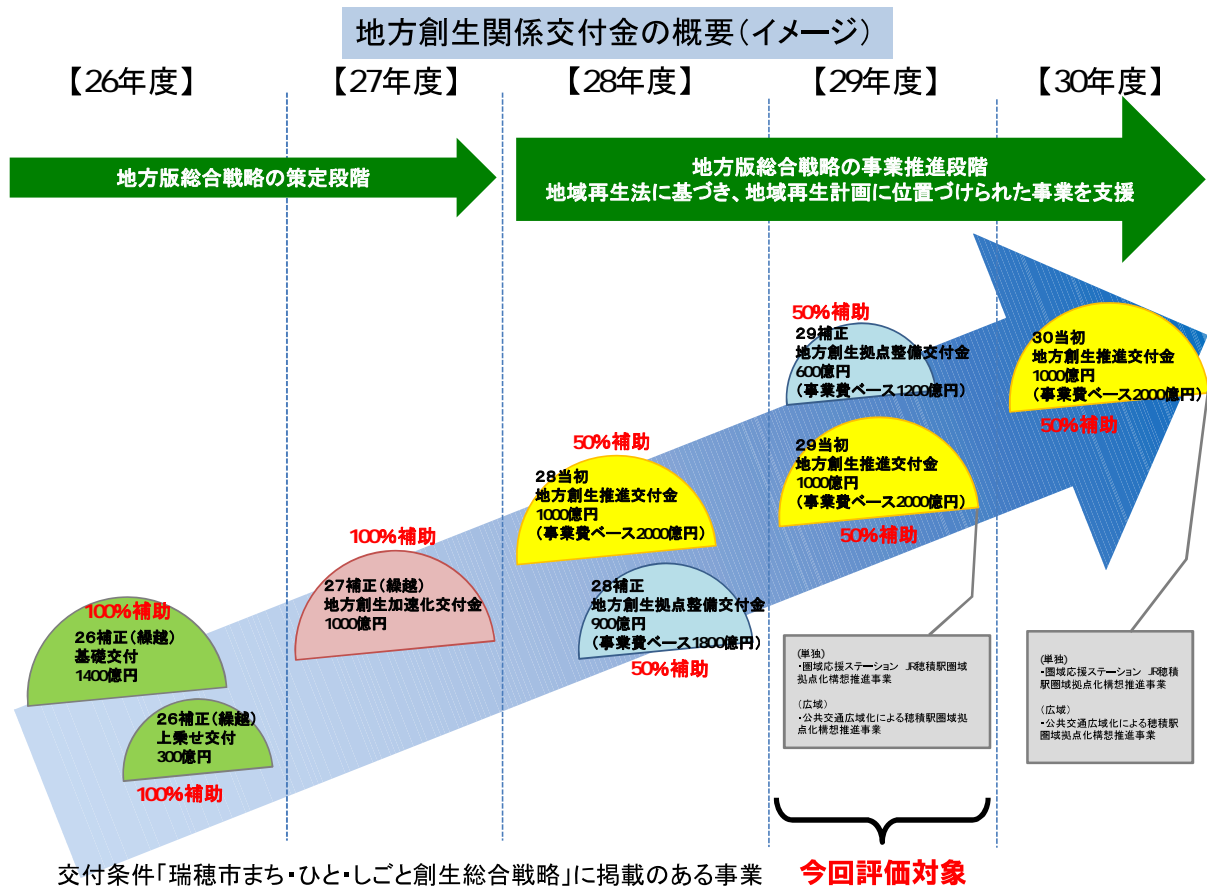
まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？②

基本目標		基本施策
1	瑞穂市の次代を担う「ひと」を育む ◎年間出生数 ◎合計特殊出生率	(1)若い世代の結婚・出産に関する意欲喚起 (2)子育て支援の充実 (3)教育力の向上 (4)健康づくりの推進
2	瑞穂市の特性を活かした「しごと」をつくる ◎就業人口・労働力人口 ◎事業所数	(1)雇用・勤労者福祉の充実 (2)商工業の活性化 (3)農業の振興
3	瑞穂市に安心して住み続けられる「まち」をつくる ◎住みやすさの評価・居留意向	(1)人口定着のための住宅・宅地の確保 (2)公共交通の充実 (3)安心な生活環境の確保 (4)地域の福祉・医療体制の充実
4	瑞穂市の魅力で「交流・にぎわい」を生み出す ◎交流人口（観光・交流入込客数） ◎地域ブランド創出件数	(1)観光力の向上 (2)地域ブランドの創造・魅力向上 (3)移住促進

2040年(平成52年)に**55,000人**を確保する

◎出生率を高める ◎社会増人口の確保

-13-



-14-

本審議会での具体的な担当事務 (総合戦略編)

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の

■ KPIの評価・検証

- H28の実績を評価
- 国の交付金により実施した事業を評価

■ 総合戦略の見直し

- H27実績に基づく見直し
- 地方創生推進交付金等の採択に伴う見直し

-15-

第1回瑞穂市総合計画等評価審議会



富有柿発祥の地 岐阜みずほ

-16-

諮問事項

「総合計画、総合戦略」 のH29年度 実績評価について



-17-

評価の流れ



①事業の説明

- ・実施した事業ごとに説明
- ・各担当部署より説明
- ・どのような事業を行ったか
- ・どの程度効果があったか
- ・今後どのような展開を行うのか



②質疑応答、③各委員による評価

- ・各委員が疑問点等を質問
- ・各委員が各自評価を記入
 - 有効か有効でなかったか
 - 必要に応じコメントを記入



④審議会全体評価とりまとめ

- ・各委員が評価内容を挙手で発表
 - ・事業ごとに審議会全体での評価を取りまとめ
- **評価結果を市ホームページで公表**

-18-

評価の流れ

会議	前回まで	今回より
第1回	①事業の説明(全12事業) ②質疑応答(全12事業) ③評価シートの記入(全12事業)	①事業の説明(1事業) ②質疑応答(1事業) ③評価のとりまとめ(1事業) ①～③の繰り返し×5事業
第2回	④審議会評価とりまとめ (全12事業)	①事業の説明(1事業) ②質疑応答(1事業) ③評価のとりまとめ(1事業) ①～③の繰り返し×7事業
答申	答申	答申

-19-

どのように評価する？



-20-

評価の流れ

1事業=20分

事業説明 = 5分

質疑応答 = 10分

評価シート記入 = 2分

審議会評価決定(挙手) = 3分

(計20分)

本日5事業 20分×5=100分

次回7事業 20分×7=140分

-21-

評価方法は？

この部分を記載

委員用評価シート(事業一覧)

委員名()

No.	事業名	評価項目(該当箇所) <input type="radio"/>	コメント
1	災害に強い住環境の整備	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	
2	預かり施設の拡充、体制整備	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	
3	グローバル化対応教育の推進	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	
4	新たな賑わいの創出	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	
5	行政評価の充実と推進	目標達成に 有効であった ・ 有効とは言えない	

-22-